

CAUX ROUND TABLE

技術（テクノロジー）と人権

【ブログシリーズ概要】

協力パートナー：Open Global Rights とワシントン大学*法の支配イニシアチブ

テクノロジー（技術）は、人権にとって強力なツールになります。人口知能やブロックチェーンなどの新しいテクノロジーは、人権の促進と保護に大きく貢献する可能性があります。同時に、人工知能、自動化、ロボット工学の急速な発展による人権および将来の仕事への潜在的な影響について、また、その拡大によって誰が利益を得、誰が損失を被るのかについて、深刻な疑問がもちあがっています。

このブログシリーズ [This blog series](#) では、新しい技術によってもたらされる人権リスクやビジネスの役割について、また、人権分野がどのように対応できるかについて、探求していきます。

技術と人権に関する最新のニュースとリソースについては、当社の「技術（テクノロジー）と人権」ポータル [technology and human rights portal](#) をご覧ください。

【ポータルサイト】

技術（テクノロジー）と人権

人工知能、自動化、およびギグエコノミーは、私たちを退屈から解放し、余暇を豊かにし、繁栄を共有する社会を構築することができます。一方で、大量の失業者や空洞化した生活を生み出し、不平等を悪化させる可能性も同じくらい持っています。

グローバル市場におけるこの新しいテクノロジーの波の中心に人権を置くことは、私たちがどの道を選択するかを定義するのに役立ちます。この新しいポータルは、この選択に関する対話と行動のためのデジタルプラットフォームになるでしょう。

Phil Bloomer、ビジネス&人権リソースセンター、エグゼクティブディレクター

テクノロジーは、人権にとって強力なツールとなり得ます。インターネットへのアクセスの増加とソーシャルメディアツールの開発により、活動家はメッセージをより迅速に、より多くの視聴者に整理して広めることができるようになりました。人工知能などの新しい技術は、社会の利益のために、情報に基づいた意思決定を行うためのデータの可用性と品質を大幅に拡大する可能性があります。こうした技術の支持者は、新しい技術（テクノロジー）が、新しい機会を解き放ち、効率を高め、人間の可能性を最大限に高めると信じています。

同時に、人工知能、自動化、ロボット工学の急速な発展による人権および将来の仕事への潜在的な影響について、また、その拡大によって誰が利益を得、誰が損失を被るのかについて、深刻な疑問がもちあがっています。生産性を向上させるために機械を使用すると、賃金の低下や失業により不平等が生じるリスクがあります。技術によって促進される「ギグ経済」の成長は、柔軟な立ち位置での働き方の可能性を広げることににより、仕事の性質を変えることに貢献しています。しかし、一部の人々に機会を提供する一方で他の人々の生活に悪影響を与えることもあります。さらに付け加えると、大量のデータ収集は、プライバシーの権利を侵害することや、政府が活動家の活動を監視しやすくすることに繋がる可能性があります。

これらの影響の多くはまだ明らかになっていません。人権団体は現在、これらの技術的進歩がすべての人々に利益をもたらしつつ、すでに最も疎外されている人々の不平等を悪化させないようにする方法を模索しています。

技術（テクノロジー）と人権：人工知能（AI）

人工知能（AI）には、不平等を引き起こし、コミュニティを不注意に分割し、さらには、人権を拒否するために積極的に使われてしまう可能性すらあります。しかしその一方で、ますます複雑化する問題の解決策を提案するという人工知能（AI）の能力が、大きな経済成長、繁栄の共有、およびすべての人権を網羅した未来をつくる可能性もあります。観客席からスポーツをみているのとは違います。最終的に人類が進む道を決定するのは、企業、政府、および個人の選択なのです。

Future Advocacy、CEO、Olyl Buston 氏

CAUX ROUND TABLE

人工知能 (AI) の分野は、人間が実施する場合に知性を必要とする仕事を、機械によっておこなう作業プロセスを参照しています。この分野は急速に進化しており、今後 10 年間で大幅に成長する態勢が整ってきています。人工知能 (AI) の提唱者たちは、AI のさらなる開発が、健康、教育、輸送の新しい機会を生み出し、富を生み出し、経済を強化し、差し迫った社会問題を解決するために活用できると信じています。進行中のイニシアチブの例としていくつかをあげると、エネルギー効率を高める、汚染を削減する、食糧不足に対処するなどの目的のために、人権調査における機械学習の導入を模索しています。

一方、人間の知能を機械に置き換えることによって仕事の性質が根本的に変わる可能性があり、結果的に、大量の失業者を生み、所得の不平等が増大する可能性もあります。企業によるアルゴリズムに基づいた意思決定も、すでにいくつかのケースでみられているように、人の偏見を永続させ、差別的な結果をもたらす可能性があります。収集および分析されるデータ量が大幅に拡張することは、データの所有権を持つ企業の力を高め、プライバシーの権利を脅かす可能性もあります。

AI の急速な成長はまた、我々の現在の政策や法制度、ビジネスデューデリジェンスの実践、および権利を保護する方法が、目的に合っているかどうかについて、重要な投げかけを提起しています。このセクションでは、この分野が進化し続けるのに伴い人権に対して与える AI の影響に関して、最新の研究とさまざまな視点を取り上げていきます。